

1 1 丹陽青色防犯パトロール連合隊（一宮市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

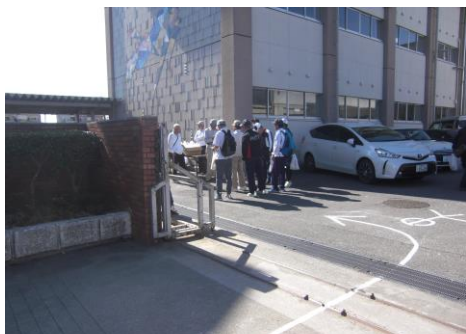
実施結果報告書

1 団体名	丹陽青色防犯パトロール連合隊
2 事業名	安全・安心なまちづくり推進事業
3 事業実施結果	<p>1. 防犯啓発事業（3 学校区にて）・・・9/9（日）</p> <p>1.1 防犯パトロール連合隊での啓発活動 連区運動会（中学校）にて防犯ポスター・補助錠配布 ポスター400枚・補助錠400個 犯罪が多い事の説明・補助錠取り扱い説明 配布ポスター・補助錠</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>青パト車の展示と活動紹介 日本財団からの助成で購入した青パト車 紹介と活動状況紹介</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>固定用バンド 4本とセット配布</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">一宮ケーブルTVでの活動紹介</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>丹陽町の防犯パトロール隊が啓発活動</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>丹陽中学校 9日</p> </div>

1.2 各パトロール隊の活動

各パトロール隊担当地域・・・添付地図参照・・・10/28（日）

- ①丹陽西小学校ウォーキング大会にて森本防犯パトロール隊
防犯ポスター・グッズ・ティッシュ配布



ポスター 160枚 ポケットティッシュ 160個
補助錠 160個

- ②防犯ポスター・補助錠配布・・・11/17（土）

丹陽小学校文化祭にて
一宮南部防犯パトロール隊

スーパーにて

丹陽防犯パトロール隊



ポスター 120枚
補助錠 120個

ポスター 120枚
補助錠 120個

③一宮市では毎月6日を「防犯の日」に指定している。そこで、連合パトロール隊では当日参加可能な青パト車を出動させ「住宅対象侵入盗・自動車盗・車上ねらい」を強化項目としてアナウンスとパトロールを実施した。地域は各々パトロール隊申請地区範囲内とした。

パトロール車でのパトロール出発

自転車でのパトロール出発



2. 地域連携・広域、あいさつ・声掛け運動

2.1 地域連携・広域活動

一宮市では青色防犯パトロール隊へはドライブレコーダが貸与されており、パトロール時には「動く防犯カメラ」としても運用している。そこで、犯罪者に対する抑制方法の1つとして、下記横断幕を製作し、各町会長へ設置をお願いした。製作枚数は各町内3枚、計105枚。

パトロール隊名	青パト車	町内数	設置枚数
一宮南部防犯パトロール隊	3台	11町内	33枚
森本防犯パトロール隊	6台	19町内	57枚
丹陽防犯パトロール隊	2台	5町内	15枚



丹陽町町会長が集合する会議にて、目的・参考設置場所例・取り付け方法の説明とお願いをした。・・・10/17(水)

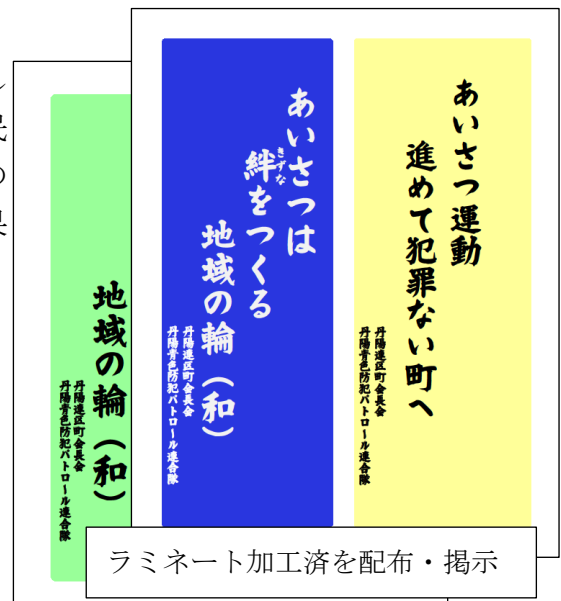


2.2 あいさつ・声かけ運動

侵入盗等の犯罪者は「顔・姿を見られる事を嫌う」と聞いている。また、狙いをつけた地域で犯罪を計画する時は事前調査のため、地域の掲示板を確認し、地域の防犯意識を見極め犯行に至っているとも言われている。

そこで、右の様な標語を作成し掲示板へ掲示する事で地域住民への啓発と2.1項の横断幕との併用で犯罪者に対する抑制効果をねらった。

2.1と同様に各町内会長の同意を得て実施



<p>4 成果と課題 及び今後の 取組</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>成果・・・主要犯罪の数値グラフ (次頁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学区とも、侵入盗犯罪は11月末時点で減少傾向となっている。 ・ポスター800枚、補助錠800個の配布は犯罪発生の抑制に繋がると想定できる。 ・他パトロール隊と合同で啓発活動を行うことで、情報交換ができるなど、今後の連携にも結びつくと考えている。 ・住民と接する中で、自分達の地域で発生している犯罪について理解している住民は少ないと感じた。(「自分のところは大丈夫!」の意識が大) <p>そこで、犯罪発生事例を直接説明することで、現状認識をしていただき、補助錠等による対策の重要性を理解していただくことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合わせて、学区のパトロール隊の活動にも理解を深めていただけた。 ・パトロール隊員は「子供見守り隊員」も兼任しているので、今まで以上に「挨拶による声掛け」を実施した。帰ってくる子供達の声も大きくなり、学区の活気にも繋がっていると考えている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各パトロール隊で広報活動を活発に行っているところだが、パトロールのみでは限界がある。身近な情報として、地区独自の犯罪発生情報が提供される事が重要である。 (警察の情報は広域なためか、身近なものとして受け止められていない。) ・どの隊も高齢化している。パトロール隊個々の問題ではなく、地域の課題として、町内会(自治会)との連携は必要不可欠である。 ・連合隊として活動するには広域となり、具体的な連合隊としての活動には限界がある。 ・地区住民に対する情報提供、啓発活動が重要であるが、各パトロール隊においてPC等の機器を扱える人材が不足している。 <p>(2) 今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各隊のパトロール隊員を確保し、継続できる体制を維持する。 ・連合隊として、継続した定例会議にて情報交換を行う。 ・行政が主体の行事には積極的に参加し、地域防犯活動に役立てる。
---------------------------------	---

○犯罪発生件数の推移

